



玉江小学校だより

玉江の教育

ホームページURL <http://www.keinet.com/tamaes/>

令和4年11月発行
鹿兒島市立玉江小学校
第 8 号

「なすことによって学ぶ」児童の成長に学びながら・・・

玉江小学校 校長 佐々木 好彦

来年度に向けて、学校経営の方針を固めていく時期になってきました。すべての本校の教育活動が校訓や学校教育目標をはじめとした学校経営の方針に基づいて位置付けられていきます。校訓は、正門正面の石碑や体育館前方に掲げてある「のぞみ 大きく たくましく」です。過日、開催されたPTA講演会で話をさせていただいた鹿兒島ユナイテッド応援リーダーの田上 裕さんがメッセージとして届けた「①夢をもちましょ」「②夢を意識して生活しましょ」「③たくさん失敗しチャレンジしましょ」「④感謝の気持ちもちましょ」につながるところで、「のぞみ」＝「夢」を大きくもち、たくましく努力を続けていく姿をイメージしています。そんな取組をしながら力のある、力強い児童を育てていかなければならないと考えています。



そんな折、ある保護者との話の中で「新型コロナウイルス感染症流行以前は『Tステ』（玉江ステーションの略）という取組があり、昼休みに児童が自主的にステージで好きなことを発表する場があって、とても盛り上がっていたのです。」という話を聞きました。時を同じくして、集会委員会の担当の職員から集会委員会の取組として「Tステ」を実施してもいいかという相談がありました。新型コロナウイルス感染症の対策のため体育館とウェブ回線を活用した教室でのTV視聴のハイブリッド方式で実施しようと決め、約1か月の準備期間を経て27団体が申し込みをし、先週の5日間で発表がありました。



担当の職員による後ろ支えのもと、集会委員会の児童が募集のパンフレットを作り、給食時間に事前放送を入れ、進行も担当しました。1団体3分の持ち時間で、2年生1学級全員での合奏・合唱あり、4年生児童の独唱あり、3年生児童の縄跳び、負けじと1年生の2人のダンス、はたまた6年生児童のキレッキレのダンス、団員募集のためのスポーツ少年団の練習している様子の発表、けん玉の連続技の披露、兄弟での発表も…。体育館のフローアは6年生の希望する児童のみの鑑賞にしていますが、自然と手拍子が起こり出演者を後押ししています。

体育館で6年生と共に鑑賞しながら、「玉江小の宝」が隠れていた。宝を埋もれさせるところだったと胸をなでおろしました。前職(教育事務所勤務)の時、学校訪問や研究公開、研修会などで年間50校以上の学校にお邪魔し、校長先生と話をしたり児童生徒の授業や諸活動の様子を拝見したりする機会がありました。「いいなあ」と思う学校は漏れなく児童会・生徒会がしっかり活動しており、児童や生徒が自主的に取り組んでいる様子が教室の掲示物から、廊下ですれ違うときの姿から、学校全体の雰囲気からじわっと感じられるものでした。その時と同じ風をTステの取組から感じ取ることができました。

加えて、現在、本校では残食調査中ですが、先日、栄養教諭から次のような話を聞きました。高学年のある学級は前回の残食調査では決して少なくない残食量だったものが、今回「ほぼ残食なし」の状態です。何が良かったのか聞いてみると、学級活動(学級会)で児童の中から「残食が多いので何とかしよう」と議題が出て、話し合いの結果、「準備の時間を短くして、できるだけ時間をかけて食べることができるようにする」「配食されたご飯や温食等をまずは全員につぎ分ける。苦手な食材もあつたりするので、減らしてよいが半分以下にはしない。返された分は、誰かがお代わりをして学級全体で食べられるようにする」など担任からの指導でなく、自分たちの話し合いで決めた結果、残食がほぼ無くなってきたとのことでした。栄養教諭からの話を聞きながら、ほんわかと温かいものを感じながら、目指すはこんな協働の力を発揮できる学校・児童の育成ということを子どもたちが姿で示してくれていると感じました。

「なすことによって学ぶ」という特別活動(委員会活動や学級活動)の特性を十分に生かしながら、実践力を付け、学びを深めている児童の成長に刺激を受けながら、「のぞみ 大きく たくましく」育てるためには、どんな学校の姿を、どんな力の児童を、どんな教師像を・・・来年度に向けて学校経営の方針を固めていきたいと考えている今日この頃です。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間 フリー参観・教育講演会・「伊敷の歴史」講座

11月1日～7日の県民週間では、1日、2日、4日にフリー参観を実施し、たくさんの保護者の方々に授業の様子を参観していただきました。また、4日午後の教育講演会では、3～6年生の児童とPTAを対象に、鹿児島ユナテッドFCの応援リーダー 田上 裕 氏に「夢」をテーマにご講演いただきました。さらに、7日は、保護者・職員を対象とした「伊敷の歴史」講座が実施され、玉江小や校区の歴史について詳しく学ぶことができました。



元気よく「はいっ！」

文教地区の
強みを生かして

鹿児島女子高の
生徒さんによる
ミシン学習教室



2年生の授業



3年生の授業



6年生の授業

学校評議員会開催



11月2日は、学校評議員の皆様にご参観の様子や施設の参観、給食の試食、学習定着度調査の結果の確認をしていただき、ご助言等をいただきました。

10月20日、21日に5年生の家庭科・ミシンの学習で鹿児島女子高等学校との交流学习が実施されました。各グループごとに高校生が補助について、ミシンの糸の絡まりもすぐに解消し、まっすぐ縫う方法や美しく仕上げるコツなどを教えていただき、布を用いた製作の学習を十分に深めることができました。

PTAバザー
大盛況!!



スーパーボールすくい

「いのち」の学習



11月12日、土曜授業日の午後からPTAバザーが開催されました。感染症対策のため、飲食等は中止となりましたが、提供品等の販売をはじめ、クイズラリーやストラックアウト、スーパーボールすくい、マグネットダーツ、キャンディーつかみ取り、愛のひとしづく運動など盛りだくさんの内容でした。計画・準備などPTA執行部(アクティ部)、専門部長、各担当、根っこ会(おやの会)の皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。

11月17日、鹿児島県看護協会の久永先生にお越しいただき、6年生が「いのち」について考える学習を行いました。赤ちゃんの抱っこ体験等の学習を通して、自他の命を尊く思うことなどについて深く考えることができました。

受賞・入賞 おめでとうございます

第65回県児童生徒作文コンクール
鹿児島市地区審査【特選】
5年 池水 蒼大「伊敷長なすから教わったこと」
6年 松川 笑子「変わらぬ味がうまれる場所」

「家庭の日」作品展
【努力賞】 3年 徳永 達丸



JA共済作品コンクール
書道(半紙)の部 【銅賞】 3年 向吉 優奈
【佳作】 3年 池田 駿
書道(編)の部 【銅賞】 6年 山下 仁
【佳作】 1年 新村 妃花梨
ポスターの部 【銅賞】 3年 堂地 爽天
【佳作】 5年 石田 結菜

第10回こんな部屋いいなコンテスト
【奨励賞】 3年 馬場畑 涼介
5年 斉藤 壮祐



鹿児島市道徳教育研究会

玉江小の授業を参観していただきました

10月28日の道徳教育研究会では、鹿児島市内の小・中学校から代表の先生方にお集まりいただき、2-2,3-3,6-4の「よりよい生き方を求める」道徳の授業を参観していただきました。子供たちが自分の意見をしっかりとって、その意見を役割演技や発表、タブレットのロイロノートの活用などを通して積極的に交流することができました。

12月の主な行事予定

- 1日(木) 校内持久走大会(3・5年)
学級PTA(3・5年)
人権週間(11/28～12/10)
不登校を考える週間(～10日)
- 7日(水) 児童代表・保健委員会、委員会活動
- 8日(木) ひまぼぼ学級PTA
- 14日(水) クラブ活動
附属特別支援学校交流学习
- 16日(金) ☆玉エコの日
- 21日(水) クラブ活動
- 22日(木) 親子読書の日
- 23日(金) 終業式(給食後下校)

